

一人ではできないことも、みんなの知恵や力を集めれば、成し遂げることができます。思いやりを忘れず、みんなの力を出し合って、九小をさらによい学校にしてほしいと思います。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「みんなの力でいい学校にしよう」

皆さんは、黒柳徹子さんを知っていますか。徹子の部屋という番組で40年以上も司会をしている人です。小さい頃はトットちゃんと呼ばれていました。トットちゃんは、小学校1年生のときトモエ学園という学校に転校します。トモエ学園の子供たちは、小さい人や弱い人を押しつけたり、乱暴をしたりするのは、恥ずかしいということや、散らかっているところを見たら、自分で掃除をすとか、人の迷惑になることは、なるべくしないようにする、といったことが、毎日の生活の中で、いつの間にか体の中に入っていたそうです。

そして、よその学校の子供たちが「トモエ学園、ポロ学校！ 入ってみても、ポロ学校！」とはやし立て、トットちゃんが「トモエ学園、いい学校！ 入ってみても、いい学校！」と言いつつ返したとき、トモエ学園の子供たちは、みんな声を揃えて「『トモエ学園、いい学校！ 入ってみても、いい学校！』と繰り返したそうです。外から見ても、中に入ってもいい学校、九小もそんな学校にしたいですね。

「ともだちをたいせつにする ひとがいます ともだちをきずつける ひとがいます
あなたは どちらをするひとになりますか」

自分の気に入った人は大切に、気に入らない人は大切にしなかったら、友達を大切にしているとは言えませんね。自分のことを分かってくれる人や、元気付けてくれる人がいると、力がわいてきます。辛いことや悲しいことも、乗り越える勇気が出てきます。どの人も、大切な仲間だということを忘れずに、助け合って、九小をこれからもいい学校にしてください。

- 1 これから学校をよくするために、私にできることを考えて努力していきたいと思います。外から見てもよい学校、中に入ってもよい学校を目指して、頑張りたいと思います。
- 2 よい学校にするために、あいさつを大切にしていきたいです。あいさつは、されると嬉しいし、するとすっきりするから、あいさつを大切に、みんなをつないでいきたいです。
- 3 外から見てもよい学校、入ってみてもよい学校を目指すためには、一人一人が意識していった方がよいと思った。そのために、最高学年として下級生に教える立場として、自分自身が努力していきたいと思った。仲のよい人だけでなく、皆によく接してよりよい学校を作っていきたいと思った。
- 4 心に残ったのは、みんながポロ学校と言っていたのに、徹子さんがいい学校と言ったところです。普通は一人で言うのは怖いはずなのに、一人で言えて勇気のある人だからです。私は、学校をみんなにいい学校と言えたい人になりたいです。
- 5 心に残ったのは、九小をいい学校にしようと言ったところです。理由は、新一年生が入ってきて、九小はいい学校だと言うことを教えてあげたいからです。次、六年生になったら、一年生にいい学校だと言うことを教えてあげたいです。
- 6 九小ももっといい学校にしていきたい。そのために、一人一人が思いやりをもつべきだと思う。
- 7 よい学校にするために、一人一人があいさつや親切など、ちょっとしたことを意識することが大切だなと思いました。
- 8 九小をトモエ学園のようなよい学校にしたいです。そのためには、私たち一人一人が一年生の目標になるようにすればよいと思います。卒業まで残り1年、後悔のないようにしたいです。
- 9 心に残ったのは、黒柳さんの話のところ。この本を読んだことがあって、「ポロ学校」と言われてもそんなに怒らず、自分で新しい歌を作って自分たちで学園をよくしていたからです。だから私も、九小を「いい学校」にしようと思います。
- 10 「トモエ学園」のことが、心に残った。なぜなら、他人に言われたことが苦しいことなのに言い返し、そのことを他人に伝えられる勇気がすごかったから。私は、相手が苦しくなるようなことを言わないことと、黒柳さんのような勇気を持ちたいと思った。
- 11 九小をよくしようと言っていたのが、心に残った。九小を今よりいい学校にしたなら、みんなもいい気持ちになるから。僕もそうするために、心がけていきたいと思いました。